

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	介護老人保健施設 松原徳洲苑 移転	階数	地上5F
建設地	大阪府松原市天美東7丁目	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年3月 予定	評価の実施日	2022年3月10日
敷地面積	5,199 m ²	作成者	(株)内藤建築事務所 大阪事務所
建築面積	2,093 m ²	確認日	2022年3月10日
延床面積	7,034 m ²	確認者	(株)内藤建築事務所 大阪事務所 浪江明弘



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 2.9

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.2

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	外壁沿い2階にデッキスペースと植栽を設置し、建物を利用する人々が自然に親しみ、憩いの場に供するスペースを計画し、まちなみに彩を提供している。また、建物内の空間を編成できるように、維持管理に配慮し、省エネルギー、省資源にも可能な限り積極的に取り組んでいる。	その他 特になし
Q1 室内環境	F☆☆☆☆の建材を積極的に採用し、室内環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物は周囲に圧迫感を与えないように道路から距離を設けて計画し、室外機は排熱に考慮した配置としている。
LR1 エネルギー	LED照明等、高効率設備を採用することで、建物から発するエネルギーの低減に努めている。	LR3 敷地外環境 燃焼機器の不採用、照明器具による敷地外への光害の抑制等により、敷地外の環境にも配慮している。
Q2 サービス性能	維持管理のしやすさへに対して配慮しているだけでなく、耐用年数の長い配管材料の採用し、階高、天井高の確保等により、サービス性能の向上を図っている。	
LR2 資源・マテリアル	節水器具の採用、リサイクル建材の採用等により省資源の配慮している。また、有害物質やフロン・ハロンの使用を回避する材料を、可能な限り採用している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0130

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	介護老人保健施設 松原徳洲苑 移転新築工事						
	建設地	大阪府松原市天美東7丁目						
	用途/区分	病院						
【評価結果】	CASBEE 総合評価						B+	
①	CO2削減						3	
②	みどり・ヒート アイランド対策						3	
③	建物の断熱性						1	
④	エネルギー削減						2	
⑤	自然エネルギー直接利用						○	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告								
【評価項目】								
	項目	評価内容					スコア	評価
①	CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価					3.0	3
②	みどり・ヒートアイランド対策							
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価					3.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価					3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価					3.0	
③	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					1.0	1
④	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					2.0	2
⑤	自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					4.0	○
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。					報告する 報告しない	報告しない
その他								
	先進的技術の導入	技術の名称			考慮事項			
	特に配慮した事項	2階デッキ部分に外壁に沿って植栽を設けたり、5階に屋上庭園を設けるなど建物緑化に努めるとともに、道路境界部分に中木の植樹や緑地の確保を行い、敷地内の緑化にも取り組んでいる。						